

公益財団法人 四万十川財団

TEL 0880-29-0200

FAX 0880-29-0201

Mail office@shimanto.or.jp

URL http://www.shimanto.or.jp



↑津野山古式神楽(天岩戸)

### ■高知県の神楽

すっかり気温も下がり、山肌の美しい紅葉がピークを迎える 11 月中旬、津野町の山間部では、各集落の神社で神楽が奉納されます。

高知県には山間部を中心に 9 つの神楽が残っており、「土佐の神楽」として国指定重要無形民俗文化財に指定されています。四万十川流域には、四万十町の幡多神楽・津野町の津野山古式神楽・梶原町の津野山神楽と 3 つの神楽があり、神楽が行われる日には県外からも見物客が訪れ、最近では神楽をメインにしたイベントも企画されるようになりました。今回は 3 つの神楽の中から、津野町の津野山古式神楽についてご紹介します。

### ■津野山古式神楽

津野山古式神楽がどのように伝わったのか明確にはわかっていませんが、延喜 13 年(913 年)に、藤原経高によって伝えられたという言い伝えが残っています。宮中で行わ

れていた御神楽が地方に伝わり、庶民に親しみやすいよう変化した里神楽であると考えられており、古事記で登場する詞が神楽の中に残されています。名前の似ている梶原町の津野山神楽はもとは同じ神楽で、津野山郷(現在の梶原町と旧東津野村を含む地域)で盛んになった神楽です。梶原町の掛橋家が中心になって行われていましたが、昭和 23 年梶原町で保存会が発足した事で、梶原町と東津野村、それぞれ個別に活動するようになりました。津野山神楽と古式神楽には演目など内容自体に大きな違いは見られませんが、仕草などに少し違いがみられます。

神楽の源は神遊びといわれ、神様に感謝を伝えること、神様に楽しんでいただくことを目的にしているため、テンポが早くダイナミックな動きで舞います。神楽は 4 メートル四方の舞殿と言われる舞台で奉納するため、津野山周辺の神社にはこの舞殿が設けられているものが多くみられます。

### ■舞

旧東津野村では神楽は昔から現在まで途切れることなく地域の神社で奉納されてきました。そのため、基本的には昔から伝えられている形を継承していると考えられています。古式神楽には、面なしの舞が 11、面付の舞が 6 つの合わせて 17 の舞がありますが、全てを舞うには 8 時間程かかると言われており、神楽の開始を神に報告する「宮入り」から始まり、神への感謝と神楽の終了を伝える「四天」で終わります。なかでも「大蛮」(だいばん)という演目は、大蛮が初参りの子どもを抱きかかえながら舞う、人気の演目です。津野町では多くの場合、舞を一部抜粋して 4 時間程かけて神楽を奉納しますが、年に一度だけ、すべての舞を奉納する「通し」が行われます。

## 保存会の活動

津野町では、津野山古式神楽保存会が中心となり、津野町の各地域の神社で神楽を奉納しています。また、保存会は神楽文化の伝承活動にも力を入れており、地元の中学生や小学生に神楽を教えています。中学校では地域学習として神楽を学んでおり、1年生は舞の意味について学ぶ調べ学習、2年生は太鼓、3年生は舞を体験し、保存会のメンバーが講師となって教えています。この活動は1995年から始まり、保存会のメンバーの中には、中学校で神楽を体験したことをきっかけに保存会に参加している方もいるなど、地域文化の伝承に繋がっています。また、2年前から小学生の神楽クラブもつくられ、現在約10人の子ども達が参加しているそうです。子ども達に神楽を教える保存会メンバーの方にお話を伺うと、「子ども達は積極性があるって熱心に練習に取り組んでくれるので、教え甲斐があり、楽しい」と話してくれました。

今回の取材にあたって、初めて神楽を拝見させていただきましたが、太鼓や笛などの鳴物の音、力強く迫力のある舞、神歌を歌う声とが調和して、厳かな雰囲気と陽気な雰囲気を併せ持った不思議な空間に感じるようになりました。見物客も多く、高齢の方から若者まで、たくさん見物客が集まっており、カメラを持って熱心に撮影している方も多く見られました。中には県外から訪れ、各集落の神楽をはしごする方もいらっしゃるそうです。津野町の山間部で古くから楽しまれている津野山古式神楽、現在でも地元の方のみならず多くの方が楽しんでいる伝統芸能です。みなさんも一度、津野町まで神楽を観に訪れてみてください。

## 神楽奉納日程

船戸地区	11月10日	船戸河内五社神社
新田地区	11月11日	新田白皇神社
北川地区	11月15日	北川河内五社神社
高野地区	11月16日	高野三嶋神社
宮谷地区	11月18日	宮谷大元神社
芳生野地区	11月19日	芳生野諏訪神社
上郷地区	11月22日	熊野神社

開始時間は地区によって異なります。詳しくは、津野町教育委員会生涯学習課(0889-62-2258)までお問い合わせください。



↑ 力強い太鼓の音と神歌の声、迫力ある舞で神様に感謝を伝えます。

## イベント情報

### 津野町光のアートフェスティバル

11月25日(日)～12月23日(日)までの土日祝、津野町で光のアートフェスティバルが開催されます。かわうそ自然公園ではミラーボールを使った光と反射が生み出す空間アート、片岡直輝・直温邸ではキャンダルアートを楽しむことができます。期間中には、ステージショーなどさまざまなイベントも企画されています。



【開催期間】11月25日(日)～12月23日(日)までの土・日・祝  
【場所・時間】かわうそ自然公園 17:00～21:00  
片岡直輝・直温邸 17:00～20:00  
【問合せ】津野町役場産業課  
TEL: 0889-55-2021

### 特別企画 土佐山間に立つ維新の狼煙

11月18日(日)～1月31日(木)まで、梶原町歴史民俗資料館 梶原千百年物語りで開催される企画展。黒船来航後、人々が開国への不安を募らせる中、土佐の山間より起こった維新の狼煙。四国初公開となる木戸孝允の帯刀など、明治維新に関わる貴重な資料を通して、郷土出身の志士たちをメインに、明治維新で活躍した人物を紹介しています。

【開催期間】11月18日(日)～1月31日(木)  
【場 所】梶原千百年物語り  
【料 金】大人: 200円 小人: 100円  
65歳以上: 100円  
【開館時間】10:00～17:00  
(入館は16:30まで)  
【問合せ】梶原千百年物語り  
TEL: 0889-65-1187

